



史上最速で頂へ 第75代横綱大の里誕生



©日本相撲協会

津幡町出身の大の里関の横綱昇進伝達式が5月28日に二所ノ関部屋（茨城県）で行われ、横綱大の里が誕生しました。
初土俵から所要13場所での横綱昇進は、史上最速となります。また、石川県出身力士の横綱昇進は1973年の輪島関以来52年ぶり3人目で、津幡町出身力士では初の快挙となります。



©津幡町大の里後援会

大の里関は口上で「横綱の地位を汚さぬよう稽古に精進し、唯一無二の横綱を目指します。相撲道に精進します」と述べました。大関昇進の際にも用いた「唯一無二」という言葉について、「当初入れない予定で考えていたが、この言葉がぴったりだと思って入れた。もう伝達式を経験することはないし、最後の経験で横綱の口上に入れて、さらにこの言葉どおり頑張るという思いを込めた」と明かしました。
今後について、「来場所は新横綱の場所です。大事になる。しっかり親方の教えを守って頑張っていきたい」と抱負を語りました。



©津幡町大の里後援会



©日本相撲協会

大の里 泰輝 (おおのさと だいき)

所属 二所ノ関部屋
本名 中村 泰輝
生年月日 平成12年6月7日
身長 192cm
体重 191kg
得意技 突き・押し・右四つ・寄り

小学1年生のときに津幡町少年相撲教室で相撲を始め、令和五年五月場所で初土俵。令和六年五月場所で初の幕内最高優勝を果たし、通算4回の幕内最高優勝を達成して横綱へ昇進。

津幡町の魅力を町内外へ広く発信する「津幡町広報特使」も務める。



©津幡町大の里後援会

第75代横綱に昇進した大の里関の奉納土俵入りが5月30日に明治神宮（東京都）で行われました。
奉納土俵入りでは、二所ノ関親方の三つぞろいの化粧まわしと5月29日に行われた「綱打ち」で作られた純白の綱を締め、太刀持ちに高安関、露払いに竜電関を従え、「雲電型」の土俵入りを披露しました。
初めての土俵入りを終えた大の里関は、「初めて披露するので不安があったが、大きく堂々とできた。これを機に頑張っていきたい」と話しました。



ふるさと津幡から祝福

大の里関の横綱昇進を受けて、矢田町長は「地元の町長としてこの上ない喜びだ。素晴らしい青年が我が町から出てくれた。唯一無二の言葉どおりの力士にこれからもなってもらいたい」と祝福の言葉を述べました。
大の里関の横綱昇進伝達式が終わった後、横綱昇進を祝う懸垂幕が役場福祉センターに掲げられました。



大の里関の軌跡

- ・2023年(令和5年)
 - 五月場所 初土俵
 - 九月場所 新十両
- ・2024年(令和6年)
 - 一月場所 新入幕 敢闘賞 受賞
 - 三月場所 敢闘賞・技能賞 受賞
 - 五月場所 新小結 幕内最高優勝(1回目) 敢闘賞・技能賞 受賞
 - 七月場所 新関脇 殊勲賞 受賞
 - 九月場所 幕内最高優勝(2回目) 敢闘賞・技能賞 受賞
 - 十一月場所 新大関
- ・2025年(令和7年)
 - 三月場所 幕内最高優勝(3回目)
 - 五月場所 幕内最高優勝(4回目)
 - 5月28日 第75代横綱昇進